

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成18年1月5日(2006.1.5)

【公表番号】特表2005-509674(P2005-509674A)

【公表日】平成17年4月14日(2005.4.14)

【年通号数】公開・登録公報2005-015

【出願番号】特願2003-545617(P2003-545617)

【国際特許分類】

C 0 7 D 205/04 (2006.01)
A 6 1 K 31/397 (2006.01)
A 6 1 K 31/4025 (2006.01)
A 6 1 K 31/4178 (2006.01)
A 6 1 K 31/4427 (2006.01)
A 6 1 K 31/4523 (2006.01)
A 6 1 K 31/4545 (2006.01)
A 6 1 K 31/496 (2006.01)
A 6 1 K 31/506 (2006.01)
A 6 1 K 45/06 (2006.01)
A 6 1 P 11/06 (2006.01)
A 6 1 P 11/14 (2006.01)
A 6 1 P 25/04 (2006.01)
A 6 1 P 25/22 (2006.01)
A 6 1 P 25/24 (2006.01)
A 6 1 P 25/32 (2006.01)
C 0 7 D 401/04 (2006.01)
C 0 7 D 401/06 (2006.01)
C 0 7 D 401/12 (2006.01)
C 0 7 D 401/14 (2006.01)
C 0 7 D 403/04 (2006.01)
C 0 7 D 403/12 (2006.01)
C 0 7 D 403/14 (2006.01)
C 0 7 D 405/06 (2006.01)
C 0 7 D 405/12 (2006.01)
C 0 7 D 405/14 (2006.01)

【F I】

C 0 7 D 205/04
 A 6 1 K 31/397
 A 6 1 K 31/4025
 A 6 1 K 31/4178
 A 6 1 K 31/4427
 A 6 1 K 31/4523
 A 6 1 K 31/4545
 A 6 1 K 31/496
 A 6 1 K 31/506
 A 6 1 K 45/06
 A 6 1 P 11/06
 A 6 1 P 11/14
 A 6 1 P 25/04
 A 6 1 P 25/22

A 6 1 P 25/24
 A 6 1 P 25/32
 C 0 7 D 401/04
 C 0 7 D 401/06
 C 0 7 D 401/12
 C 0 7 D 401/14
 C 0 7 D 403/04
 C 0 7 D 403/12
 C 0 7 D 403/14
 C 0 7 D 405/06
 C 0 7 D 405/12
 C 0 7 D 405/14

【手続補正書】

【提出日】平成17年10月28日(2005.10.28)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

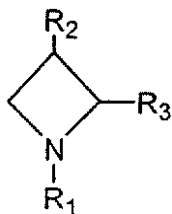
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

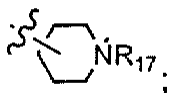
次式により表わされる化合物、またはそれらの薬学的に受容可能な塩もしくは溶媒和物、またはそれらのジアステレオマーもしくは鏡像異性体：

【化1】



ここで、(a) R_1 は、 $-(CH_2)_nCHR_4R_5$ 、フルオレニル、ピリミジニルまたは

【化2】



である；

n は、0、1、2または3である；

R_2 は、Hである；そして R_3 は、 $-C(H)(R)-NR_7R_8$ である；

R は、H、アリール、 R_6 -アリール、アリール $(CH_2)_{1-2}$ 、 R_6 -アリール $(CH_2)_{1-2}$ またはヘテロアリールである；

R_4 は、H、アリール、 R_6 -アリール、ヘテロアリール、 C_{1-6} アルキル、 C_{3-6} シクロアルキルまたは C_{2-6} アルケニルである；

R_5 は、アリール、 R_6 -アリール、ヘテロアリール、 C_{1-6} アルキル、 C_{3-6} シクロアルキル、 C_{2-6} アルケニルまたはフルオレニルであるが、但し、 R_4 および R_5 がそれぞれフェニルであるとき、 R は、フェニルでも R_6 -フェニルでもない；

または R_4 は、Hであり、そして R_5 は、テトラヒドロナフチルまたはハロゲン、 C_{1-6} アルコキシ、ヒドロキシ、 C_{1-6} アルキルおよびトリハロ (C_{1-6}) アルキルが

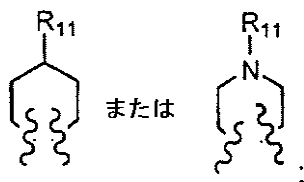
らなる群から選択される 1 個または 2 個の置換基で置換されたテトラヒドロナフチル；

R_6 は、ハロゲン、 $C_1 \sim 6$ アルコキシ、ヒドロキシ、フェニル、フェノキシ、 $C_1 \sim 6$ アルキル、トリハロ ($C_1 \sim 6$) アルキル、アミノ、アミド、 $-NO_2$ 、ナフチル、ベンゾイルおよびベンジルオキシからなる群から別個に選択される 1 個もしくは 2 個の置換基であるか、または 2 個の隣接環炭素原子は、メチレンジオキシで置換できる；

R_7 は、 $-(CH_2)_x R_9$ 、テトラヒドロナフチル、1 個もしくは 2 個の R_{10} 基で置換されたテトラヒドロナフチル、または $C_5 \sim C_7$ シクロアルキルであり；そして R_8 は、H である；

または R_7 および R_8 は、一緒になって、次式の環を形成する：

【化 3】



x は、 $0 \sim 10$ である；

R_9 は、H、 $C_1 \sim C_6$ アルコキシ、フェニル、1 個もしくは 2 個の R_{10} 基で置換されたフェニル、ナフチル、ピリジル、イミダゾリル、フラニル、ピロリジニル、ピロリドニル、ピペリジニル、N- ($C_1 \sim C_6$ アルキル) - ピペリジニル、N-アリアル ($C_1 \sim C_6$ アルキル) ピペリジニルまたはジフェニルメチルである；

R_{10} は、別個に、ハロゲン、 $C_1 \sim C_6$ アルコキシ、 $C_1 \sim C_6$ アルキル、 $-OCF_3$ およびメチレンジオキシからなる群から選択される；

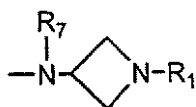
R_{11} は、アリアル ($C_1 \sim C_6$) アルキル、ジ-アリアル ($C_1 \sim C_6$) アルキルまたはピペリジニルである；そして

R_{17} は、H、 $C_1 \sim C_6$ アルキルまたはベンジルである；

あるいは

(b) R_2 は、 $-NHR_7$ または

【化 4】



であり、そして R_3 は、H である；そして

R_1 および R_7 は、(a) で定義したとおりである、化合物。

【請求項 2】

以下：

およびNK₃ タキキニンレセプターアンタゴニスト、ならびにGABA_B アゴニストからなる群から選択される、製薬組成物。